

動物ふぁいる No.76
生き物ずかんかごしま水族館
ナマズ

【かごしま水族館 ☎226-2233 FAX223-7692】



大きな口やひげが特徴的な「ナマズ」は、古くから日本人に親しまれてきた淡水魚です。大昔から食用にされていて、日本各地でナマズにまつわる伝承や信仰があったり、浮世絵など芸術の題材になったりもしています。そんなナマズですが、誰もが名前は知っていても野生の姿を見たことがある人は意外と少ないのではないのでしょうか。

ナマズは県本土各地の河川で見られます。夜行性のため、日中は物陰でじっとしていることが多いのですが、夜になるとセンサーの役割があるひげで餌を探し、小魚や甲殻類などを丸飲みにして食べます。本市では住宅地を流れる川にも生息しているので、近所の川を探してみると見つかるかもしれません。

当館では1階の「ワクワクはっけんひろば」で展示しています。ひっそりと岩の陰などにひそむ姿をぜひ観察してみてください。

かごしまフォロワー
かごフォロHONEY CRAFT代表
いっのへ ゆうり
一戸 悠里 さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



荒田で蜂蜜酒専門工場とハニーカフェを運営している一戸さんに話を伺いました。

高等専門学校3年生の時、自営業で自由に生きていた父が急に亡くなり、それをきっかけに起業しようと思い始めました。小さい頃から甘党で蜂蜜が大好きなこともあり、学生時代に養蜂体験に行き、担い手不足や蜜源の減少、ミツバチの減少など養蜂業界の多くの問題を聞きました。こうした状況を知り、ミツバチと養蜂家を守るための活動を行いたいと思いました。その皮切りとして、蜂蜜の付加価値を高めて新しい商品を作ろうと決意し、その商品開発を模索している中、蜂蜜のお酒に出会いました。「おいしい！自分も作りたい！」と思い、2年間の酒蔵修行も経て、おとしの3月に蜂蜜のお酒専門の自社工場“HONEY CRAFT”を造ることができました。1年かけて、ようやく満足する味の蜂蜜のお酒“meadol”が完成し、蜂蜜酒の世界大会などで多くの賞をいただくことができています！

昨年5月には工場の敷地内に“HONEY CRAFT CAFE”をオープンし、今後さらにカフェのドリンクやフードを通してより多くの人に蜂蜜のおいしさを伝えていきたいです。

(インタビューの詳細は広報課Instagram「カゴシマファン」などでチェックを)



meadol

学芸員オススメ！No.94
市立美術館の逸品にいろ ちゅうの すけ
新納忠之介『大黒天』

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

技がさえわたる等身大の大黒天

新照院町出身の新納は、日本全国の神仏像を修復した彫刻家として知られています。新納は今年で没後70年を数え、当館も設立70周年であることから不思議な縁を感じます。

本作は、福岡の観世音寺にある大黒天像を修復したときに、原像を木彫で模したもので、縁あって郷里の当館に収蔵されています。

原像は日本最古かつ最大の大黒天像で、国の重要文化財に指定されています。

元は悪を懲らしめる怖い顔

の大黒天が、やがておなじみの笑顔の好々爺のイメージへと変化していく過渡期の表情が興味深いところです。また、大黒から「大国」が連想され、大国主命という神のイメージも加えられ、神仏双方の要素を兼ね備えている両義的な存在と考えられています。

5月6日(振休)まで開催する「春の所蔵品展」で展示しています。商売繁盛などのご利益があるとされる大黒天。多くの来館者で当館がにぎわうことを期待しています。



ひろばサポーターがゆく

桜島のゲストハウス
いこ
ikoてらす

【東桜島総務市民課 ☎221-2111 FAX221-2113】

桜島の魅力ある暮らしを体験してみませんか？

自然豊かな桜島でさまざまな体験や交流ができるゲストハウスがオープンしたのをご存知でしょうか？ その名は、“ikoてらす”です。どのような施設なのか、私が描いた「バーチャル広報サポーター『木花桜子』」が紹介します。

ikoてらすのコンセプトは「知恵と生活が根付く活火山のふもとに、体験と交流のお試し暮らし」。改新地域コミュニティ協議会が運営しています。釣り、カヤック、サイクリング、桜島

大根などの桜島特産の農産物収穫体験や地域住民との交流イベ

ントなど、ikoてらすを拠点に桜島をあらゆる方面から満喫することができます。県外からの移住・定住を一番の目的とした施設ですが、市民の方も利用可能なので多くの体験などを踏

まえ、改めて桜島の魅力を感じてほしいです。

施設は2組、最大10人まで宿泊可能。築約50年の空き家を改装したモダンな和風の宿で大工職人によるこだわりの空間で落ち着いた雰囲気を感じられます。宿泊者がいないときにはコワーキングスペースや会議などの用途でも利用できるようになるようです。

普段の生活では味わうことのできない、活火山である桜島と、そこで生活を営む人々の暮らしを体験してみたいはいかがでしょうか？

ひろばサポーター
まむねむこ

バーチャル広報サポーター 木花 桜子

ikoてらす
ホームページ